



2025.1.15

第88号

発行/公益財団法人群馬県児童健全育成事業団

通信



子ども観劇会「TAP DO! タップダンスエンターテイメントショー～リズム&コメディ～」



こどもから大人まで、だれもがたのしめるタップダンスショー！海外公演も行う実力派の劇団がやってくる！タップダンスにジャグリング、パーカッションリズムなど盛りだくさんなショーです。



HPイベント情報

開催日 3月9日(日) 会場 2階 多目的ホール

午前の部

時 間 11:00~11:45

対 象 児童発達支援センター、特別支援学級等に通う児童・生徒とそのご家族

定 員 150名

申 込 1/29(水) 9:00~、当館HPイベント情報から

午後の部

時 間 14:00~14:45

対 象 どなたでも

※未就学児は保護者同伴

定 員 200名

申 込 当日受付



クラフトルーム作品展

これまでクラフトルームで制作してきた作品を展示します。個性豊かな様々な工作が並びます。ぜひ見に来てください♪



※写真は過去に実施したときのもの

開催日：3月1日(土)～31日(月)※休館日を除く

時 間：9:30～17:00

場 所：2階 フロア

自分のお気に入りの作品を見つけてみてね！



休館日

1月…1日(水)～3日(金)・14日(火)・15日(水)・20日(月)・27日(月)

2月…3日(月)・10日(月)・17日(月)・18日(火)・25日(火)

3月…3日(月)・10日(月)・17日(月)・24日(月)



ぐんま子どもの国児童会館

〒373-0054 群馬県太田市長手町480

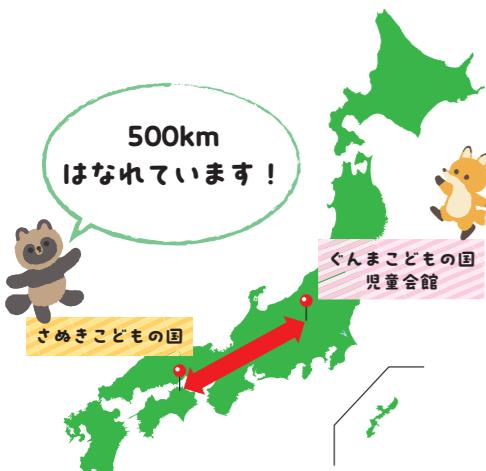
TEL: 0276 (25) 0055 FAX: 0276 (25) 0059

HP: <https://kodomonokuni.or.jp>

X・Instagram: @nicottochan5

※次号は、令和7年4月15日(火)発行予定

「さぬぐんうどん開店！うどん職人あそび」開催報告



ぐんま子どもの国児童会館は、群馬県唯一の大型児童館。この大型児童館、実は全国に18か所だけ！そのうちのひとつ、香川県にある「さぬき子どもの国」とオンラインで繋がりながらイベントを開催しました。



このふたつの県に共通するもの……それは「うどん」！日本三大うどんのうち、香川県の「讃岐うどん」と群馬県の「水沢うどん」が共通しており、こちらをテーマにしたイベントを実施しました。

さぬきとぐんまのうどんを掛け合わせた「さぬぐんうどん」。実は、これを作るには修行が大切。さぬぐんうどんを作るうどん師匠が画面上に現れ、両館の参加者に様々な作り方を紹介します。それぞれの館内各所に作られたうどん職人になるためのブースで修行を積み、最終的にはおいしいさぬぐんうどんの完成！

両館の参加者が画面上で繋がりながら修行を楽しみ、「離れていてもこころはひとつ」なことをイベントを通して実感することができました。

★うどん職人になるための修行を紹介！



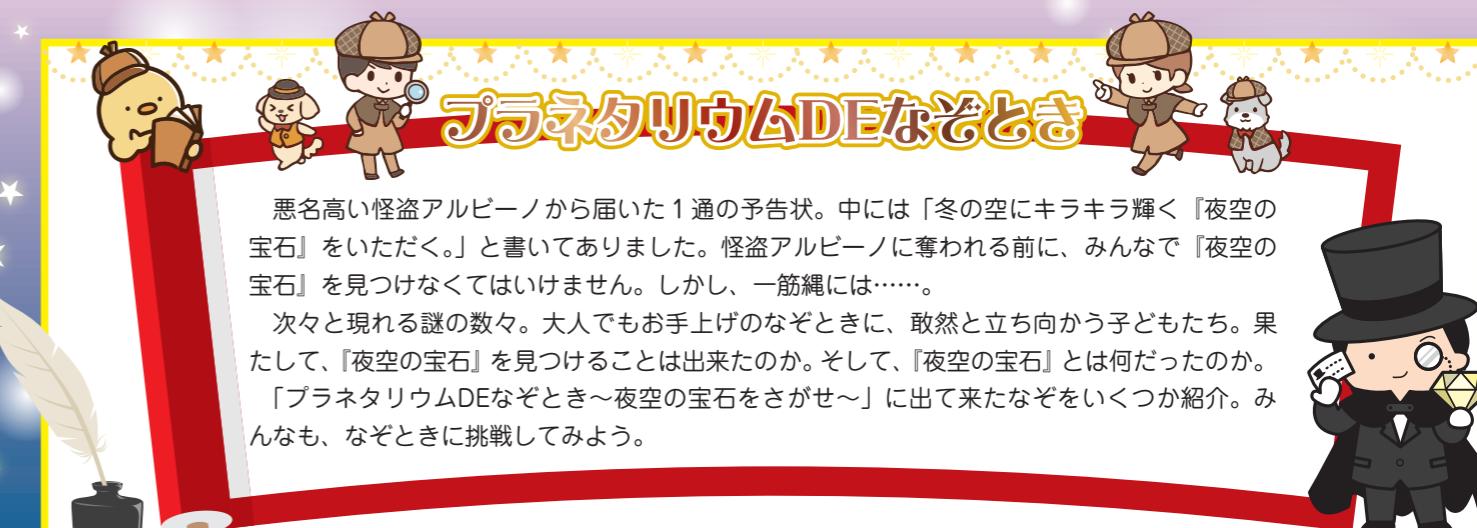
①うどんはコシが命！
うどんの生地を足踏みして一緒に作りました。



②ご注文はなんですか？
ロパクだけで「きつねうどん」「たぬきうどん」等と相手に注文！



③おだしゲット！
おさかなにお出汁の味が書いてある！両館でつなげるとオリジナルのおだしを作れます。



悪名高い怪盗アルビーノから届いた1通の予告状。中には「冬の空にキラキラ輝く『夜空の宝石』をいただく。」と書いてありました。怪盗アルビーノに奪われる前に、みんなで『夜空の宝石』を見つけてはいけません。しかし、一筋縄には……。

次々と現れる謎の数々。大人でもお手上げのなぞときに、勇敢と立ち向かう子どもたち。果たして、『夜空の宝石』を見つけることは出来たのか。そして、『夜空の宝石』とは何だったのか。

「プラネタリウムDEなぞとき～夜空の宝石をさがせ～」に出て来たなぞをいくつか紹介。みんなも、なぞときには挑戦してみよう。



Q1. ぼし 星をつなげて 出てくる言葉は なに？



Q1のヒント
温度計の色が青から赤にだんだんと色が変わっています。
横の矢印は上から下に描かれています。

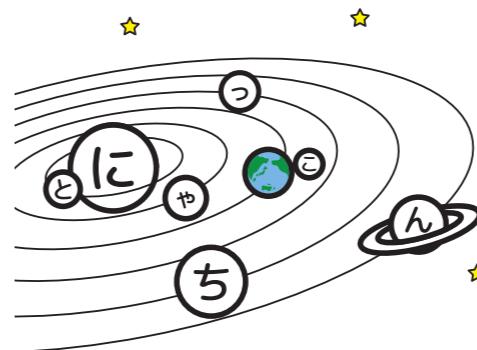
Q2. これは なに座？

閉 前 材 次 芋
↓ ↘ → ← ↑

Q2のヒント
漢字は読めなくても大丈夫です。
漢字の中に、別の文字が隠れています。

Q3. した 下の□に文字を入れて

できる言葉は なに。



Q3のヒント
7個の四角は、日にちを見るときに目にする“あれ”です。
下のイラストには、私たちが住んでいる星が描かれています。

ぐんまこどもの夢大賞

第33回 入選作品

「ぐんまこどもの夢大賞」は、児童文化の振興を図る目的で、群馬県と当児童会館の運営主体である公益財団法人群馬県児童健全育成事業団の共催で行っており、33回目を迎えました。

今年度は絵画部門で5,499点、童話部門は223点と特に多くの応募をいただきました。いずれも子どもたちの豊かな感性と個性、そして、純粋な思いが伝わってくる素晴らしい作品でした。

審査の結果、絵画は最優秀賞3点、金賞11点、銀賞17点、銅賞28点、奨励賞56点が、童話は最優秀賞1点、金賞3点、銀賞4点、銅賞5点、奨励賞5点が入賞しました。

ここでは、最優秀賞を受賞したみなさんの作品とインタビューを紹介します。



インタビュー内容

- ①受賞を知ったときの気持ち
- ②制作時間
- ③どうしてこの作品をかこうと思ったか
- ④次は何を書きたい?
- ⑤将来の夢
- ⑥保護者のことば

絵画

最優秀賞



高崎市立金古南小学校(1年)

たなか まさと
田中 誠人 さん

「きょうりゅう ふっかつ！」



- ①すごく嬉しかった！めちゃめちゃ嬉しい！絵を描くことも恐竜も大好きだから嬉しい！
- ②3日間。下書き→ペンでなぞる→クレヨン・絵の具で描く…これを1日ずつ。楽しく描けた。
- ③恐竜が大好きで、恐竜を復活させてみたかったから。4歳くらいから好き。クリスマスに恐竜の図鑑を買ってもらったのがきっかけで好きになった。本物の恐竜に会いたかった。
- ④恐竜が復活する前の絵を描きたい。化石の絵。化石を掘り起こしたい。
- ⑤恐竜博士。恐竜の身体の仕組みや動きを調べたい。
- ⑥小さい頃から絵を描くことが大好きだったので、今回このような賞をいただけて親子共々大変嬉しいです。誠人、おめでとう！

最優秀賞



太田市立旭小学校(2年)

いい もとき
伊井 基貴 さん

「モンスター world」



- ①うれしかった。クラスのみんなもすごいと言ってくれてうれしかった。
- ②3日間。キャラクターを描くのはスラスラ描けた。
- ③自分の絵をみんな見てほしいから得意なキャラクターを描いた。

- ④みんなが喜ぶもっとすごい絵を描きたい。
- ⑤イラストレーター。
- ⑥最優秀賞おめでとう！たくさん的人に自分の絵をみてもらいたいという夢が叶って良かったね。これからも自分らしい絵を描き続けて夢を叶えてね。

最優秀賞



伊勢崎市立名和小学校(6年)

さいとう ここね
斎藤 心音 さん

「だるま職人」



- ①とても、うれしかったです。よくがんばったなと思いました。
- ②1ヶ月ぐらいかかりました(笑)
- ③伝統工芸品を作るのが夢だったので、その夢を絵に書いてみたいなと思って描きました。
- ④来年は中学生になるので、もっと立体的にリアルにかきたいです。
- ⑤将来の夢は、だるまや赤べこなどを伝統工芸職人になって、たくさんの人に広めたいなと思っています。
- ⑥今回は、最優秀賞を頂きありがとうございます。一生懸命書いた絵が評価されたことで、本人も自信がついたと思います。

童話



前橋市立原小学校(3年)

さとう かほ
佐藤 果穂 さん

最優秀賞



- ①信じられないような感じ。
- ②夏休み全部くらいで書いた。
- ③3月に家にきた犬のハルちゃんが、人間だったらおもしろいなと思ったから。
- ④おばあちゃんの家にいる、ねこのアンズと、はっちゃんを、主人公にした話。
- ⑤ドッグトレーナーです。馬の飼育員になりたい。
- ⑥本が大好きで、お話を書くのもたのしみにしていました。これからも楽しく書き続けてください！



「てんこう生のハルちゃん」

ある日、てんこう生がやってきた。名前はハルちゃん。ひやけをした、一つしばりの女の子だった。べん強はにが手だった。なぜなら、ハルちゃんは、先生が話している時、ずっとソワソワしていて、動きたくてもうがない様子で聞いていなかったから。

それから、耳にえんぴつをさして、けしこムをくわえて、「フンワンフーン。」っておかしな歌を歌つたりしたから。

ときどき、イスの上に足をのせて、体をつくえの上にのせて顔をつくえの前に出してねている事もあるから。

だからべん強ができなくて、いつもテストは三点なんだ。

でも、運動しんけいはとてもよかったです。

そのしょうこは、この前、リレーをしていた時、ハルちゃんは、黄色チームで、わたしは黒チームだった。ハルちゃんはアンカーだった。ハルちゃんがバトンをもらった時、黄色チームは、あきらめかけていた。ずいぶんひきはなされていたからだ。でも、ハルちゃんが走りだすと、黄色チームの顔がぱッと明るくなってしまった。アンカーをおいこして、いっきにぎやくてんしたからだ。

ハルちゃんは走りおわった後、にこっとわらってなか間とタッチした。

「きみたちも速かったよ。」

わたしにとてはくやしい思い出だったけど、ハルちゃんは運動しんけいがよかったです。

まあ、今の話にもどって。

今は、きゅう食の時間。ハルちゃんは、まちきれなさそうだ。「いただきます。」をすると、ハルちゃんは、一しゆんで食べてしまった。おかげでごはんはのこらずにすんだけど、みんなが食べきれなかった分まで食べたものだからハルちゃんのおなかははちきれそうだった。それでも、昼休みは外で走りまわっていた。

五時間目は体育だった。

かんたんなボールあそびで、ラグビーみたいな事をするらしい。ハルちゃんは、ワクワクして、先生の話を聞いているふりをしていた。

しあいが始まった。ハルちゃんは「くれ、くれ、くれ、くれ、くれーっ。」と言つてボールをもつてゐる人のまわりをグルグルグルと回つた。仕方なくボールをわたすとすごいきついで走つて、いききにトライをした。

先生が言った。「すごいですね。ハルさん。みなさんも見習いましょう。走り方のコツを教えてください。」

「えっ？コ、コツ？」

「そうです。コツ。」

「コツはねえ…えつと、あのあの…」

みんなはハルちゃんをじっと見る。

「あ、あのね…あっそうだ！えつと、何も考へないで走るの。」

「何も考へないで走る？」

みんなの声がかさなつた。

「そう、みんな分かる？何も考へないで、風になつた気分で走る！」

「ふーん。」

少し意味が分からぬ。

「では、みんなで走りましょう。ハルさん、みじかいきよりか、長いきより、どちらがいいですか。」

「えつと…じゃあ長い方。」

「では、1キロメートル走りましょう。」

「うええ。なんでよう。いやあ。きらあい。」

みんなの口から文くがもれた。

「文くを言ってもダメです。やることはやります。」

1キロメートル走つても、ハルちゃんはやはり一いだつた。ぜんぜんつかれていなくてよゆうそうだった。

その日のほうかご、教室で、ハルちゃんは男子たちに、おいかけまわされていた。

とてもかわいいので仕方がない。

ハルちゃんはおにごっこみたいと、楽しんでいた。

男子たちはべんきょうはできないけど、運動しんけ

いがいい子はすきだと口ぐちに言っていた。

「ハルちゃんは、何がすきなの。」

ハルちゃんをおいかけ回している一人が言った。

「ほね」

「えー！ほね？」

「な、なんで？」

「こわいんだけど。」

男子たちは口ぐちに言つた。

そのうち、男子の一人が

「犬でもかってるの？」

「か、かってるんだ。しば犬を。その子がすごくかわいいから…。え、えへへ…。つ、ついね…あは、あはあは。」

ハルちゃんが言った。

わたしが、

「そうだよね。かわいすぎて、ペットがすきになる物をすきになっちゃう事ってあるよね。」

と言うと、ハルちゃんは

「あはは…う、うん。」

わたしは、ハルちゃんといっしょに帰る事にした。

下校中、ハルちゃんはわたしの方をチラチラと見ていた。それはそれは話したそうな目で。だから、「何か用があるの。」

と聞くと、ハルちゃんは、おどろいた様子で

「キャー。」

と言って、走り出して道路にとび出しそうになった。

「あぶないよ。」

わたしが、あわてて言ってふくをひっぱると、「ピヤッ。」

その後、すぐに車が来た。わたしがハルちゃんを引きずつてもどすと、「ありがと。」

ハルちゃんはほつと、むねをなでおろした。

「ところで、さっき、チラチラとこっちを見ていたけど、何か用があるの。」

「う、うん。じつは帰り道が分からなくて。」

「え、え、そ、そ、それは本当？」

「うん。いつもは、家ぞくといっしょだから帰れるけど、今は一人だから、家がどこだか分からなくなっちゃつた。」

「わたしもいっしょに行こうか。」

わたしが言うと、ハルちゃんの顔がぱッと明るくなつて、「やつたあ。わたしの家は赤いやねの家だよ。」

とハルちゃん。

三時間さがしてやつとついた。ハルちゃんの家はおしろみいたつた。

「ここだよ。あんがと。じゃ、バイバイね。」

わたしはハルちゃんとわかれた。

わたしのクラスでは、うさぎをかつている。二羽の黒のオスと白と茶色のメス一羽ずつだ。

「今日は、ハルちゃんといっしょにうさぎの世話当番だね。がんばろ。」

と私が言うと、ハルちゃんは、

「ワン！」

「ワ、ワ、ワン？」

「いや、あの、家の犬のまねしてみたの。あたいの犬、

話かけると、『ワン。』てへんじをしてくれるの。あはは、えへへ。」

「ま、いか。うさぎフードとりに行こ。」

理科室に行ってうさぎフードをもつと、ハルちゃんは、「うまそう。食べたいな。」と、したなめずりをした。

「え、おいしくないよ。あ、ちょ、ハルちゃん、キャー、ギー、うわー、やめてー。」わたしは大あわて。だって、ハルちゃんがうさぎフードを食べたんだもの。

「ハルちゃん？大じょうぶ？」

ときくと、ハルちゃんは、

「うさぎフードより、ドッグフードとか、ほねの方がいいなあ。」

と言つた。わたしは、「え？ どういうこと？」

と聞いた。すると、

「うん。だってあたい犬だもん。かくしててごめんね。犬、犬、イヌ～！イ、イ、イ、イヌヌーン。」にこにこして、ハルちゃんは、理科室を走り回つた。

わたしは先生に言うと、先生も理科室に来て、おどろいた様子で

「ハルさん、犬…なのですね。」

するとハルちゃんは、みるみるちぢんで、しば犬のすがたになつた。それも子犬だ。

しばらくポカンとしていた先生の足に、「くうん」と言いながら、スリスリした。首にみどり色のバンダナがまいてあって、「小学生ハル」と書かれていた。

先生が、かわいいと言つたので、みんなわらわらと集まつた。みんな口ぐちに、「かわいい、かい、かわいいです。」と言つた。

先生は、校長先生にほうこくした。そして「このクラスでハルさんをかわせてください。」

とたのんだ。しばらく「うーむ」と考えていた校長先生だが、「まあいいだろう。」

とへんじをした。みんな、「やつたー」と大よろこびした。つづけて校長先生は、「でも、じょうけんがある。トイレは決めた場所でする事。首に名ふだをする事。これを守れば、かつてもいい。わたしもハルさんはかわいいと思う。」

「ワオオオーン。」

ハルちゃんはしあわせそうに遠ぼえした。

みんなも、みの回りの犬を見てください。もしその犬の首に「小学生ハル」と書かれたバンダナがまいてあつたら、きっとそれが、てんこう生のハルちゃんですよ。



「へんしん★ハロウインカーニバル」開催報告



「へんしんだ きょうはハロウイン おおさわぎ」10月26日～28日に開催した「へんしん★ハロウインカーニバル」には、1,700名を超える方に来場していただき大盛況でした！会場には、魔女やプリンセス、キャラクターに変身したこどもたちが集まり、まるで絵本の世界から飛び出してきたよう。ステージショーでは、バルーン・ミニコンサート・コメディーなど毎日違ったショーを楽しみ、会場全体で盛り上りました。ネイルアートやアームペイントでかわいらしいメイクをして、笑顔がきらめいた子も！来年もみんなでハロウインを楽しみましょう！



ジュニアスタッフ企画



今年度のジュニアスタッフ秋企画は「オータムジュニア祭～秋の屋台～」を開催しました。これは小学校4年生から高校生の児童会館子どもボランティアであるジュニアスタッフが企画、準備、運営、片付けまで行った事業の1つです。

参加者は、「収穫ゲーム」「じゃんけん」「とんぼをつかまえよう！」「さかなつり」にチャレンジするとドングリを獲得でき、それを持って行くと「かぼちゃのランタン」の工作的材料と交換できる仕組みです。

来場者は260人、ジュニアスタッフとボランティアは準備と開催にのべ23名が参加しました。予定数を超えるほどの来場がありジュニアスタッフは大忙でしたが、みんなで協力できしたことや、たくさんお客様が来てくれたことがうれしかったそうです。



『オータムジュニア祭～秋の屋台～』報告



今年度のジュニアスタッフ秋企画は「オータムジュニア祭～秋の屋台～」を開催しました。これは小学校4年生から高校生の児童会館子どもボランティアであるジュニアスタッフが企画、準備、運営、片付けまで行った事業の1つです。

参加者は、「収穫ゲーム」「じゃんけん」「とんぼをつかまえよう！」「さかなつり」にチャレンジするとドングリを獲得でき、それを持って行くと「かぼちゃのランタン」の工作的材料と交換できる仕組みです。

来場者は260人、ジュニアスタッフとボランティアは準備と開催にのべ23名が参加しました。予定数を超えるほどの来場がありジュニアスタッフは大忙でしたが、みんなで協力できしたことや、たくさんお客様が来てくれたことがうれしかったそうです。



フォローしてね！



@nicottochan5



当館ホームページは[こちら](#)



当館の最新情報を掲載しています。
ご来館前にぜひご覧ください。



にこっと通信バックナンバーは[こちら](#)

開館当初からの「ニュース」や「通信」の
バックナンバーがご覧いただけます。

